

1. まえがき

春日井市立押沢台小学校で行っている「学校評価アンケート」の目的は、以下の2つである。

- ・教職員による「自己評価」の結果と、児童、保護者、地域住民による「学校評価」の結果から、押沢台小学校の現況を明らかにすること
- ・その結果から、**学校運営の改善による教育水準の向上を図る** [1] こと

教職員による「自己評価」は、学校評価の基本である [1]。教職員が「自己評価」を行うとき、これに関連する事項について、アンケートを行うことがある。本報告書では、このアンケートを「自己評価用アンケート」とよぶ。

また、文献 [1] には、「自己評価を行う上で、児童生徒や保護者、地域住民を対象とするアンケート（これを外部アンケートとよぶ）による評価や、保護者等との懇談会を通じて、**授業の理解度や保護者・児童生徒がどのような意見や要望**を持っているかを把握することが重要である。」と書かれている。

本年度も昨年度に続き、教職員向け「自己評価用アンケート」と児童、保護者、地域住民向け「外部アンケート」を実施した。

本報告書では、「これらのアンケートとその結果など」と「明らかになった改善すべきことや要望」と「それらに対する対応」について述べる。

2. アンケートの作成と処理

アンケート用 Web ページは、Google Form を利用して作成した。Google Form からの回答は、Google Spread Sheet にまとめられる。それをダウンロードした。PC の表計算ソフトウェアを使って、そのアンケートの回答を処理した。

アンケートの回答は、自由記述を除き、肯定的回答から否定的回答 {よくできた、できた、少しできなかった、全くできなかった} の4つから1つを選ぶ択一式とした。項目によっては、回答に「不明」を追加できる。そのとき、選択肢の数は5となる。

回答は、語句で表わされている。そのままでは、処理に不便なので、数値化した。肯定的回答から否定的回答に対して、それぞれ、{4, 3, 2, 1} で数値化した。また、「不明」は、{0} とした。

数値化された回答から平均点が算出される。それを評価点とよぶ。さらに、分かりやすいように、その評価点を X としたとき、その評価点を以下のように A, B, C, D のランクに分けた (表 1)。

表 1 評価点とランク

ランク	A+	A	B+	B	C+	C	D+	D
評価点 X	$X \geq 3.75$	$3.75 > X \geq 3.5$	$3.5 > X \geq 3.25$	$3.25 > X \geq 3.0$	$3.0 > X \geq 2.75$	$2.75 > X \geq 2.5$	$2.5 > X \geq 2.25$	$2.25 > X$

本報告書では、 $(X \geq 3.0)$, ランク B 以上の評価を目標とした。

3. アンケートの評価項目

2025年度の評価項目を示す(表2)。このとき、文献[1]の【参考2-1】をもとに、分類を決めた。

表2-1 2025年度 学校評価アンケート評価項目

分類	教職員	児童(1・2年)	児童(3～6年)
教育目標	Q01. 重点努力目標「考えよう! やってみよう!」に沿って教育活動をすすめていますか	Q01. よいとおもったことはじぶんからやっていますか	Q01. よいと思ったことを自分からやるようにしていますか
学習指導	Q02. 教材研究や授業研究に意欲的に取り組む「分かる授業」をしていますか	Q02. がっこうのべんきょうはわかりますか	Q02. 学校での勉強はわかりますか
	Q03. シンキングサイクルを意識した探究的な学習活動を取り入れていますか。	Q03. じゅぎょうちゅうには、せんせいのなしをよくきいていますか	Q03. シンキングサイクルを使って、自分で学習を進めることができますか。
キャリア教育 生徒指導	Q04. 児童一人一人のよさを生かした学級・学校づくりをしていますか	Q04. あなたにはよいところがありますか	Q04. 先生は、あなたのよいところを分かってくれていると思いますか
	Q05. 学級・学校は楽しく明るい雰囲気ですか	Q05. がっこうはたのしいですか	Q05. 学校は楽しいですか
	Q06. 自分から児童にすすんで挨拶をしていますか	Q06. せんせいやともだちにじぶんからあいさつをしていますか	Q06. 先生や友達に自分からすすんで挨拶をしていますか
	Q07. 児童が安心して質問や相談ができる雰囲気づくりをしていますか	Q07. せんせいにしつもんやそうだんはしやすいですか	Q07. 先生に質問や相談はしやすいですか
	Q08. 児童の考えを取り入れた活動や行事にするよう工夫をしていますか	Q08. かかりのしごとをがんばっていますか	Q08. 自分たちで考えて活動する機会はありますか(係活動・行事など)
	Q09. 「おっしータイム」の活動をもとに、授業でも互いの考えやよさを認め自他を大切に作る温かい雰囲気づくりを心がけていますか。	Q09. おっしータイムはたのしいですか	Q09. おっしータイムでは、自分の考えを伝え、友達の考えをよく聞いていますか
特別活動	Q10. 児童のがんばりを積極的に見つけてほめていますか	Q10. がんばったとき、せんせいはほめてくれますか	Q10. がんばったとき、先生はほめてくれますか
	Q11. 縦割り班活動では、他を思いやる気持ちや社会性を養うことができるよう児童に声掛けをしていますか	Q11. たてわりはんのかつどうはたのしいですか	Q11. 縦割り班活動は楽しいですか
保健・安全管理	Q12. 児童が健康に生活できるよう声掛けをしていますか(健康観察・健康診断・食育指導など)	Q12. びょうきにならないようにきをつけてせいかつをしていますか	Q12. 健康に気を付けて生活していますか
	Q13. 児童が運動に親しみ、体力の向上を図ることができるよう、体育の授業を工夫していますか	Q13. ほうかはそとであそびますか	Q13. 外で遊ぶなど、体を動かすようにしていますか
	Q14. 自分や周りの人を大切にする心を育む指導をしていますか	Q14. ともだちにやさしくしていますか	Q14. 自分や周りの人を大切にしていますか
	Q15. 児童が安全に生活できるように気を付けていますか(安全点検の実施・児童の活動状況の確認など)	Q15. けがをしないようにきをつけてすごしていますか	Q15. 安全に気を付けて生活していますか
保護者との連携	Q16. 保護者への情報発信に努めていますか	Q16. がっこうのほーむぺーじやおたよりをみたことがありますか	Q16. 学校のホームページやおたよりを見たことがありますか
環境整備	Q17. 教室の清潔・整頓を心がけていますか	Q17. きょうしつにごみはおちていませんか	Q17. 教室はそうじやせいとんがしっかりされていますか
特別支援教育	Q18. 特別支援学級の児童や特別な支援を必要とする児童の支援を適切にしていますか		

表 2-2 2025 年度 学校評価アンケート評価項目

分類	保護者	地域住民
教育目標	Q01. 今年度の学校の重点努力目標が「考えよう！やってみよう！」であることを知っていますか	
学習指導	Q02. お子さんは学校での勉強を理解できていますか	
	Q03. お子さんの学級では、自分でよく考えたり、友達に考えを伝えたりする授業をしていると思いますか	
キャリア教育	Q04. あなたは、お子さんによいところ（長所）を伝えていますか	
生徒指導	Q05. お子さんは、学校が楽しいと言っていますか	
	Q06. あなたは、お子さんにすすんで挨拶をしていますか	Q01. 児童は、地域の人に自分からすすんで挨拶をしますか
	Q07. お子さんは教師に質問や相談をしていますか	
	Q08. 学校は、児童の考えを取り入れて活動・行事を工夫していると感じますか	
	Q09. お子さんは、おっしータイムは楽しいと言っていますか	
	Q10. お子さんは、がんばると教師がほめてくれると言っていますか	
特別活動	Q11. お子さんは、縦割り班活動は楽しいと言っていますか	
保健・安全管理	Q12. お子さんは健康に生活していますか	
	Q13. お子さんは、運動や外での遊びをしますか	
	Q14. お子さんは自分や周りの人を大切にしていますか	
	Q15. お子さんは安全に生活していますか	Q02. 児童は安全に登下校していますか* Q03. 児童は安全に遊んでいますか*
保護者との連携	Q16. 学校は、児童の様子や連絡を分かりやすく情報発信していますか	Q04. 学校の様子がホームページや学校だよりでよく分かりますか** Q05. 学校は地域の声や要望をよく聞いていますか** Q06. 学校は地域との連絡や相談を適宜行っていますか**
環境整備	Q17. 学校は清潔・安全に整えられていますか	Q07. 学校は施設・設備を整えていますか
特別支援教育		

* 「教職員・児童・保護者向け」Q15 と、「地域住民向け」の Q02, Q03 の平均値とを比較する。

** 「教職員・児童・保護者向け」Q16 と、「地域住民向け」の Q04, Q05, Q06 の平均値とを比較する。

4. アンケートの結果と考察

表 3 に、「教職員の自己評価の結果」と「外部アンケートの評価結果」とを並べた。また、「自由記述」とそれに対する「回答」として「■来年度の方針」を加えた。

表 3 から、以下のような感想を得た。

○教職員の自己評価は、「Q00.総合」～「Q18.特別支援」で、すべて評価 A または B であった。

○児童の評価結果は、「Q16.情報発信」を除き、評価 A または B であった。Q16 だけが評価 C であった。もし、児童が Web ページなどから学校の情報を得ているとしたら、それは問題である。したがって、評価 C（や D）は、正常な状況であることを示している。

○保護者の評価結果は、「Q07.先生に質問・相談」～「Q11.縦割り班活動」で、評価 C であった。その原因として、以下のような理由が考えられる。

- 例えば、保護者の小学校時代にはなかった「Q09.おっしータイム」、「Q11.縦割り班活動」などの場合、学校や児童から保護者へ、これらについての説明が十分に届かなかった。または、児童と保護者の会話が不足していた。

- その他の場合、一般的には、教職員に時間的な余裕がなく、十分な時間をかけた児童への指導ができなかった。あるいは、児童がしっかり聞いていなかった。それによって、保護者への説明が十分に届かなかった。または、学校から保護者への直接の説明が十分に届かなかった。

○地域住民の評価結果では、地域との関係で大切な「Q06.あいさつ」が評価 C であった。学校で「あいさつ」の意義をさらなる頻度で説明していただきたい。

以上のことから以下のような結論に至った。

◎教職員の自己評価結果，児童の評価結果から，現在，全体的には大きな問題がない。

◎しかし，保護者などへ十分に説明し，賛同や協力を得ることなどに関しては，改善の余地がある。しかし，すべての教職員に児童の教育・指導と保護者などへの広報・解説の両方でエキスパートになれとは言えない。各教職員の個性を生かした学校経営が重要である。

◎また，いじめや不登校などに対する高感度なアンテナと迅速な対応がとれる体制は必要である。

表 3-1 2025 年度 学校評価アンケート（Q01-Q11）年間評価結果・まとめ・来年度の方針

分類	評価項目	教職員	児童	保護者	地域住民	自由記述のまとめと来年度の方針
総合	Q00.総合	B+	B+	B	B	現状において，B以上の評価が得られたことで合格点に達している。しかし，まだそこに達していない児童がいることも事実である。今後，そのような児童にも温かい手をさらに差し伸べていきたい。
教育目標	Q01.教育目標	A	B	C		<p><今年度の目標>「かながえよう！やってみよう！」これが浸透すれば，いじめなどはなくなる。</p> <p>■来年度の方針</p> <p>児童には，B+のレベルまで引き上げ，本小学校の特徴としたい。</p>
学習指導	Q02.勉強を理解	B+	B+	B		自由記述のまとめ 保護者：「授業で分からない所があると，先生がすぐに気付いて教えてくれる，休み時間に先生が笑顔で話しかけてくれた。」
	Q03.シンキングサイクル	B	B+	B		保護者：「苦手な体育や算数で，先生が詳しく教えてくれた。出来たらすごく褒めてくれた。毎日楽しそうに登校している。」
キャリア教育 生徒指導	Q04.児童の長所	B	B+	B		保護者：「授業が分かりにくい，先生の説明や要点が分かりにくい。」
	Q05.学校は楽しい	B	B+	B		保護者：「授業は理解できていないまま，次に進んでいってしまう。困っている。学校は楽しい。学びが少し足りない。」
	Q06.あいさつ	A	B+	A	C	児童：「先生に相談しにくい，最近授業がよくわからない。授業で交流タイムを作してほしい。」
	Q07.先生に質問・相談	B+	B	C		保護者：「子供が担任に相談ができない（相談しにくいと感じている様子）。今年度になって，登校したくないとよく言う。親としても，担任の対応に疑問を感じる。」
	Q08.児童の主体性	B+	B+	C+		保護者：「子どもの意見を聞かず決めつけている。先生が子どもに対応すると聞いたことが守られずそのままになっている。」
	Q09.おっしータイム	B+	A	C		保護者：「最後まで担任の先生と子供が信頼関係を築けなかった。」
	Q10.先生がほめる	B+	B	C+		
特別活動	Q11.縦割りの班活動	B+	B+	C		<p>保護者：「おっしータイム；完全に流れ作業になっている。特に自分の意見を言っているようには見えない。」</p> <p>保護者：「おっしータイムと縦割りの班活動に関しては，あまり話が拵がらない。」</p> <p>保護者：「指導の先生が代わるのは子どもも親も不安定になる。副担任を専属でお願いしたい。」</p> <p>保護者：「出席停止期間中など，オンラインで授業を受けられるようになると良い。」</p> <p>■来年度の方針</p> <p>自由記述の提案などは，全部ここに提示した。一方，学校が楽しいなどの学校に感謝する自由記述は全部で13件あった。ここに提示したのはそのうちの2件である。</p> <p>アンケート結果は，教職員や保護者が思っている以上に，児童にとって学校は楽しい場所であると示している。</p> <p>勉強で分からないところがあれば，先生に聞いて分かるようになり，知る喜びを経験している。また，そのとき，褒められると非常に喜んでいる。これは教師冥利に尽きることである。</p> <p>一方，教職員に対する厳しい意見がある。その原因を考えてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間的余裕がない。 ・先生の授業に対する考え方や方法（哲学）などが保護者や児童に十分に理解されていない。 <p>教員は，自分の授業方針や方法をまず教員間で切磋琢磨し，十分にこなした上で保護者や児童に説明すべきである。他にも，本人に自覚することがあれば，教員間で議論して改善すべきである。</p> <p>教師とは，それほど重い職業である。</p>

表 3-2 2025 年度 学校評価アンケート (Q12-Q18) 年間評価結果・まとめ・来年度の方針

分類	評価項目	教職員	児童	保護者	地域住民	自由記述のまとめと来年度の方針
保健・安全管理	Q12.児童の健康	A	B+	B+		保護者：「冬のプールは風邪をひきやすい。体調管理が難しい。時期を考えて欲しい。」 ■来年度の方針 同じプールを利用している他校やプール側と話し合う。
	Q13.児童の運動	B	B+	B		
	Q14.人を大切に	A	A	B+		地域：「ヘルメットを着用せず自転車に乗っている。」 ■来年度の方針 これは重大な問題である。学校も家庭も一丸になって指導する。
	Q15.児童の安全	A	A	B+	B	保護者：「児童の下校時に、正門前に車を停めて待機している。児童が出てきたタイミングと車が出るタイミングが重なると危ない。」 ■来年度の方針 正門前に車を止めることは、見通しが悪くなり、児童が事故にあいやすくなる。動線を考え、そこへの駐車に対し再考を求める。 児童：「バスケットゴールが壊れているので直してほしい。」 地域：「体育館の空調を早く入れてほしい。」 ■来年度の方針 壊れている所は早急に修理する。体育館の空調は、最初の予定より早くなっている。今しばらくお待ちください。 児童：「クラスにネガティブな言葉が少しある。」 児童：「たくさんの男子が昇降口の前で固まって喋ったり、こっちを見て笑ったりしているからちょっと通りづらい。」 児童：「後ろで暴れているひとがいる。」 保護者：「クラスで過度に悪口を言う数人がいて、なかなかおならない。校長先生と担任の先生のお話があってから、少しおとなしくなった。加害側の子が別室に行くべきではと思う。」 保護者：「同じクラスの子に保健室登校の子がいる為保健室に行きにくい。」 保護者：「いじめのような苦痛の大きい問題や、クラスがあれいていることについては、多人数の先生に柔軟に関わっていただく必要がある。」 保護者：「クラスメイトを平気でいじめて笑い物にするようなことがないようにしてほしい。」 ■来年度の方針 児童にとってこの小学校は楽しい場所である。「いじめ・不登校」は、「人を大切に」の精神に反し、人権を軽んじる行為である。これらは、本小学校だけの問題ではなく、全国的な問題である。文部科学省の「不登校対策（COCOLOプラン等）」で示されている「学校風土の把握ツール」など有用な手法を利用して改善する。
保護者との連携	Q16.情報発信	B+	C	B+	A	保護者：「掃除が行き届いてない所があるので、気をつけてほしい。」 保護者：「トイレに落書きがされていることがある。」 ■来年度の方針 学校全体のこととして、教職員・児童で取組む。
	Q17.教室の清潔・整頓	B+	B	B+	B	
特別支援教育	Q18.特別支援	B+				
自由記述	学校・行事					保護者：「授業参観の回数を減らして欲しい。」 保護者：「運動会の点数制を戻して勝敗が付くようにしてほしい。」 保護者：「授業参観のために有給をとっているのに、パソコンで何をやっているのかよくわからない。その後の発表もない。先生の説明もない。行く意味が全くない。」 ■来年度の方針 教職員、PTA などと話し合う。
	その他					保護者：「質問の回答項目に『よく分からない』を入れてほしい。」 ■来年度の方針 『よく分からない』がないのは、児童とそれについて話す機会を持っていただきたいからです。その情報と保護者の見識から判断してください。

5. 次年度への改変と対応

外部アンケートには、「**授業の理解度や保護者・児童生徒がどのような意見や要望を持っているかを把握すること**」[1]という役目がある。したがって、以下のような質問文は次のように書き換えるべきである(表4)。

表4 評価項目の書換え

	2025年度	2026年度
教職員	Q06. 自分から児童にすすんで挨拶をしていますか	Q06. 自分から児童に進んで挨拶をし、児童にあいさつ運動を勧めていますか
児童(1・2年生)	Q04. あなたにはよいところがありますか	Q04. せんせいは、あなたのよいところをわかっていますか
保護者	Q04. あなたは、お子さんによいところ(長所)を伝えてありますか	Q04. 先生は、お子さんのよいところを分かっていると思いますか
	Q06. あなたは、お子さんにすすんで挨拶をしていますか	Q06. お子さんは、自分からすすんで、家族、先生、友達、地域の人に挨拶をしていますか

2024年度にあって、2025年度にない評価項目がある(表5)。今後、これらをどう扱うかも課題である。

表5 2024年度の評価項目との比較

2024年度	2025年度
Q04.人の話を しっかり 聞いていますか。	「よく聞く」がない。自分の意見を言えるのは大事である。まず人の意見を聞き、正しく理解し、その後、賛成意見や反対意見を述べる態度は大切である。
Q09.家族に相談 しやすいですか。	「家族に相談」がない。

6. あとがき

学校評価アンケート結果から、押沢台小学校の現況を明らかにできた。**学校運営の改善による教育水準の向上を図る**ためのヒントが得られた。

◎教職員の自己評価結果、児童の評価結果から、現在、全体的には大きな問題がない。

◎しかし、保護者などへ十分に説明し、賛同や協力を得ることなどに関しては、改善の余地がある。しかし、すべての教職員に児童の教育・指導と保護者などへの広報・解説の両方でエキスパートになれとは言えない。各教職員の個性を生かした学校経営が重要である。

◎また、いじめや不登校などに対する高感度なアンテナと迅速な対応がとれる体制は必要である。アンケート作成では、評価項目に関する検討が今後も必要である。

謝辞

アンケートに協力していただいた教職員、児童、保護者、地域住民に深く感謝する。

参考文献

[1] 文部科学省. “学校評価ガイドライン〔平成28年改訂〕”.

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/01/30/1323515_021.pdf, (参照 2024-02-29).